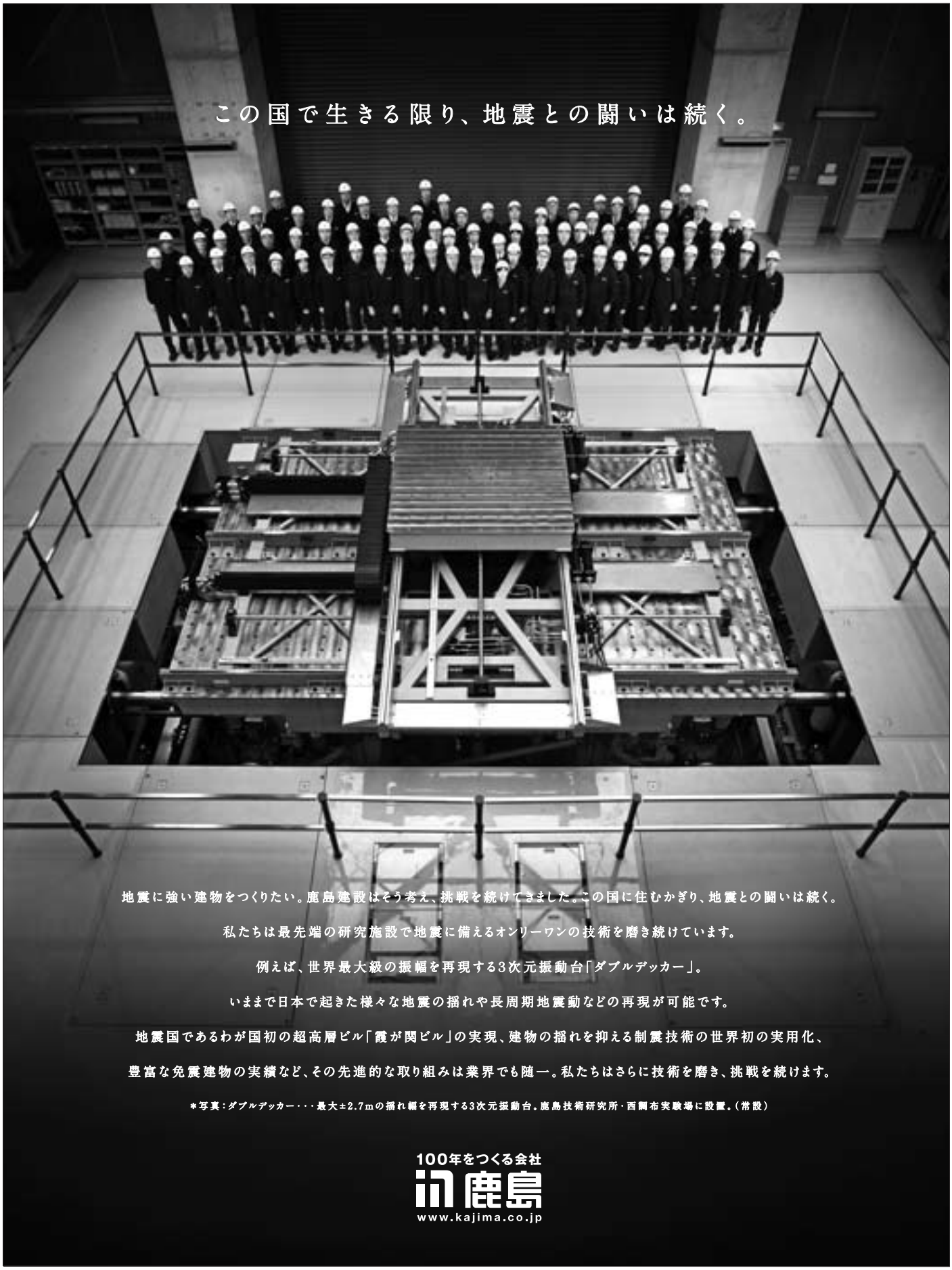
この国で生きる限り、地震との闘いは続く。
地震に強い建物をつくりたい。鹿島建設はそう考え、挑戦を続けてきました。この国に住むかぎり、地震との闘いは続く。
私たちは最先端の研究施設で地震に備えるオンリーワンの技術を磨き続けています。
例えば、世界最大級の振幅を再現する3次元振動台「ダブルデッカー」。
いままで日本で起きた様々な地震の揺れや長周期地震動などの再現が可能です。
地震国であるわが国初の超高層ビル「霞が関ビル」の実現、建物の揺れを抑える制震技術の世界初の実用化、
豊富な免震建物の実績など、その先進的な取り組みは業界でも随一。私たちはさらに技術を磨き、挑戦を続けます。
＊写真：ダブルデッカー・・・最大±2.7mの揺れ幅を再現する3次元振動台。鹿島技術研究所・西調布実験場に設置。（常設）
100年をつくる会社
鹿島
www.kajima.co.jp